

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 24 年 12 月 27 日 (2012.12.27)

【公表番号】特表 2012-508501 (P2012-508501A)  
 【公表日】平成 24 年 4 月 5 日 (2012.4.5)  
 【年通号数】公開・登録公報 2012-014  
 【出願番号】特願 2011-535522 (P2011-535522)  
 【国際特許分類】

H 0 4 W 52/02 (2009.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 4 2 3

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 11 月 7 日 (2012.11.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無線通信システム端末の不連続受信制御方法において、  
Long DRX Cycle が使用されたか否か又は Short DRX Cycle  
e が使用されたか否かを判断する段階と、  
Short DRX Cycle が使用されたと判断した場合、下記数式 1 を満足する  
 サブフレームでオンデュレーションタイマーを開始する段階とを含む方法。

[ 数式 1 ]

$$[(\text{System Frame Number (SFN)} * 10) + \text{subframe number}] \bmod (\text{Short DRX Cycle}) = (\text{DRX Start Offset}) \bmod (\text{Short DRX Cycle})$$

【請求項 2】

シグナリングを通じて DRX パラメータ を受信する段階を更に含み、  
 前記 DRX パラメータは、DRX start offset、Long DRX Cycle、Short DRX Cycle、オンデュレーションタイマー を含むこと を特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記シグナリングは、RRC シグナリング を含むこと を特徴とする請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記判断する段階において、  
Long DRX Cycle が使用されたと判断した場合、下記数式 2 を満足するサブフレームで前記オンデュレーションタイマーを開始する段階を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

[ 数式 2 ]

$$[(\text{SFN} * 10) + \text{subframe number}] \bmod (\text{Long DRX Cycle}) = \text{DRX start offset}$$

【請求項 5】

前記判断する段階は、  
 一定時間基地局から資源割り当てがない場合、前記 Long DRX Cycle が使

用されたと判断し、そうでなければ前記 Short DRX Cycle が使用されたと判断することを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記オンデューレーションタイマーの進行中に制御チャネルの制御情報を監視する段階を更に含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

無線通信システム端末の不連続受信制御装置において、

Long DRX Cycle が使用されたか否か又は Short DRX Cycle が使用されたか否かを判断し、Short DRX Cycle が使用されたと判断した場合、下記数式 1 を満足するサブフレームでオンデューレーションタイマーを開始するように制御する DRX 制御部を含むことを特徴とする装置。

[ 数式 1 ]

$$[(\text{System Frame Number (SFN)} * 10) + \text{subframe number}] \bmod (\text{Short DRX Cycle}) = (\text{DRX Start Offset}) \bmod (\text{Short DRX Cycle})$$

【請求項 8】

シグナリングを通じて DRX パラメーターを受信する受信部を更に含み、

前記 DRX パラメーターは、DRX start offset、Long DRX Cycle、Short DRX Cycle、オンデューレーションタイマーを含むことを特徴とする請求項 7 に記載の装置。

【請求項 9】

前記シグナリングは、RRC シグナリングを含むことを特徴とする請求項 8 に記載の装置。

【請求項 10】

前記 DRX 制御部は、

前記判断時に Long DRX Cycle が使用されたと判断した場合、下記数式 2 を満足するサブフレームで前記オンデューレーションタイマーを開始するように制御することを特徴とする請求項 7 に記載の装置。

[ 数式 2 ]

$$[(\text{SFN} * 10) + \text{subframe number}] \bmod (\text{Long DRX Cycle}) = \text{DRX start offset}$$

【請求項 11】

前記 DRX 制御部は、

前記判断時に一定時間基地局から資源割り当てがない場合、前記 Long DRX Cycle が使用されたと判断し、そうでなければ前記 Short DRX Cycle が使用されたと判断することを特徴とする請求項 7 に記載の装置。

【請求項 12】

前記 DRX 制御部は、

前記オンデューレーションタイマーの進行中に制御チャネルの制御情報を監視するように制御することを特徴とする請求項 7 に記載の装置。